

第2章 快適な都市生活を送るために

誰しも、美しい環境の中で安心して快適に生活し、豊かな時間を過ごしたいと考えています。特に都心部には郊外とは違った地区のルールや都市環境、居住スタイルがあります。これらを良く知ること、より良い快適な都市生活を送ることができます。

そこで、都心部に居住することについて、次の4つの観点から考えてみましょう。



住みやすさ

様々なライフスタイルに対応し、安全で安心した豊かな生活を送ることが求められています。活発なコミュニティを形成するため、多様な世帯がバランスよく居住することが求められています。



景観

潤いのある美しい街並みの形成を図るため、生活空間の中で、心地よく、調和のとれた景観づくりへの継続した取組が求められています。



賑わい

都心の魅力づくりや活性化を図るため、都市の主要な構成要素のひとつであるマンションにも、賑わい空間の創出に向けた取組が求められています。



資産価値

資産価値の保全を図り、快適な居住環境を確保するため、日常の管理を適正に行うことが求められています。

第3章 豊かで魅力ある都心居住の実現

1 「住みやすさ」とは？



(1) 居住ニーズに合った住宅であること

個人の価値観の多様化やライフスタイルの変化の中で、多様な居住ニーズに合った質の高い住宅や住環境が供給・整備され、必要に応じて適切に選択できるようになることが望まれます。

子育て世帯には、広い居住スペースや安全な住環境、子どもを安心して遊ばせることのできる^{*1} プレイロット、児童室（キッズルーム）や集会室等子育てに配慮したコミュニティ施設の整備が必要となります。



一般的に、マンションの高層階の居住者ほど外出が少なくなると言われています。また、子育て世帯では、外出不足が親子の過度な心理的密着を生み、子どもの自立が遅れるなど子どもの成長に影響を及ぼすとの指摘があります。プレイロット等の施設が活用されることにより、マンション内外のコミュニケーションの活性化が図られるとともに、外出の機会が増えることも期待できます。

また、マンションの購入等に当たっては、子どもの成長に応じた通学や医療機関への通院などについても、あらかじめ考慮しておく必要があります。

広島市には、都心やその周辺部で中堅所得ファミリー世帯向けの良質な賃貸住宅の供給を目的として、世帯の所得に応じて民間賃貸住宅の家賃の一部を助成する「^{*2} 広島市特定優良賃貸住宅」や広島市が建設し供給している「^{*2} 特賃住宅」があります。

また、市営住宅の入居に際し、ひとり親世帯、多子世帯等に対して当選率を優遇する制度があります。

住宅金融支援機構では子育てファミリー向け賃貸住宅を建設する事業者を対象に融資する「子育てファミリー向け賃貸住宅融資制度」があります。

